

どくしょつうちょう かつよう  
～とよはしこども読書通帳を活用しよう～



# レインボー



どくしょつうちょう  
読書通帳に100さつ しろくできた子には  
プレゼントが あるよ!

しょうがっこう なんせいよう  
小学校1～3年生用

No.87

とよはしとしょかん (2021. 秋. はつこう)  
とよはししほねいちよう  
〒441-8025 豊橋市羽根井町48 TEL 31-3131

豊橋市図書館

検索

★HP でバックナンバーが、見られます。

こんかい  
今回のテーマは、  
かんがえてみよう!  
かんきょう  
環境のこと



はじまりはたき火 火とくらししてきたわたしたち

まつむら ゆりこ/作 小林 マキ/絵 福音館書店  
人間はずっとむかしから、火をつかって くらししてきたよ。ごはんをつくったり、体  
あたためたりするほかにも、人は火でいろいろなものを生み出してきたんだ。  
でも火のエネルギーがたくさんつかわれるようになって、こまったことが  
おきているみたい。どんなことかな? どうしたらよいか、考えてみよう!



なや かんきょういいん  
悩める環境委員エコ (わかば学園スーパー委員)

小松原 宏子/著 サクマ メイ/イラスト くもん出版

きれいずきで きちようめんな大山サエコは、みんなからニックネームで「エコ」と  
よばれている。クラスの環境委員になったエコは、毎日教室をピカピカに  
できて大まんぞく。でもある日から、なぜか教室がすぐにちらかるようになって  
こまってしまうエコ。エコをこまらせていたのは、同じクラスのマサオだった。



わたしがかわる みらいもかわる エスディーゼース  
SDGsははじめのいっぽ

原 琴乃/作 MAKOオケスタジオ/絵 山田 基靖/監修 汐文社



わたしたちのすむ地球では今、いろいろな問題がおきている。  
たった1つの地球のみらいをつないでいくために、世界中が はなしあって  
きめた17のもくひょうを「SDGs」というよ。かんたんなことを少しずつでも  
いい。みんなが地球のために行動すれば、大きな力になるよ。  
小さな一歩を、今日からふみだそう!

# やまからにげてきた・ゴミをぽいぽい

田島 征三 / 〔作〕

童心社



ほしい<sup>もの</sup>物や、食べ<sup>た</sup>たい物<sup>もの</sup>は、すぐ<sup>て</sup>に手<sup>て</sup>にはいる。いらなくなったら、すてばいい。そしてポイポイすてた <sup>た</sup>くさんのごみは、もやされて<sup>はい</sup>灰<sup>あと</sup>になった後、生き物<sup>い</sup>がす<sup>い</sup>んでいる山<sup>やま</sup>にすてられて…。  
くるし<sup>やま</sup>そうに <sup>い</sup>にげていく山の生き物<sup>もの</sup>たちは、どうなってしまうのでしょうか。

## 川は生きている

富山 和子 / 作 大庭 賢哉 / 絵

講談社



日本<sup>にほん</sup>には、まがりくねって <sup>は</sup>ながれが早<sup>お</sup>く、大雨<sup>おおあめ</sup>で <sup>こ</sup>うずいになるようなあばれ<sup>か</sup>んぼうな川<sup>かわ</sup>がたくさんあるよ。日本人<sup>にほんじん</sup>はむかしから、川<sup>かわ</sup>となかよくできるようにくふう<sup>い</sup>してきたけど、今<sup>いま</sup>、それがうま<sup>か</sup>くいかなくな<sup>か</sup>って、川<sup>かわ</sup>も人<sup>ひと</sup>もくるしんでいる。水<sup>みず</sup>、土<sup>つち</sup>、みどり、すべてとつながっている川<sup>かわ</sup>。  
わたしと川<sup>かわ</sup>のつながり<sup>み</sup>を、見つめなおしてみよう。

## はらぺこゾウのうんち

藤原 幸一 / 写真・文 偕成社

南<sup>みな</sup>アジアのジャングルで見つけた、大きなゾウの大きなうんち。このゾウのすむ<sup>もり</sup>森<sup>ちきゅう</sup>では、地球<sup>ちきゅう</sup>があた<sup>か</sup>たかくなりすぎる「おんだん化」によって、動物<sup>どうぶつ</sup>が食<sup>た</sup>べる草<sup>くさ</sup>や、水<sup>みず</sup>が足りなくなっていました。おなかをすかせたゾウは、ゴミすてばにやってくると ゴミ<sup>た</sup>を食<sup>か</sup>べはじめ<sup>かんきょう</sup>て…。環<sup>かん</sup>境<sup>ぎょう</sup>や人<sup>にん</sup>間のくらしで、ゾウがおい<sup>おし</sup>つめられていることを教<sup>しやしん</sup>えてくれる写<sup>え</sup>真<sup>ほん</sup>絵本<sup>えほん</sup>です。



## いき (中川ひろたかのせいがかつかがく絵本)

中川 ひろたか / 作 北村 裕花 / 絵 アリス館



さむい冬<sup>ふゆ</sup>の日<sup>ひ</sup>、は一ついき<sup>し</sup>をはいてみよう。はいた <sup>ろ</sup>いき<sup>み</sup>が白く見えるよ。  
動物<sup>どうぶつ</sup>も、植物<sup>しょくぶつ</sup>も、虫<sup>むし</sup>も、地球<sup>ちきゅう</sup>にいる <sup>い</sup>たいいの生き物<sup>もの</sup>は  
いき<sup>し</sup>をしている。わたし<sup>が</sup> <sup>し</sup>いき<sup>ぶつ</sup>をしていられるのは、植物<sup>しょくぶつ</sup>が  
「さんそ<sup>だ</sup>」を出<sup>だ</sup>してくれているからなんだ。このま<sup>ちきゅう</sup>ま地球<sup>ちきゅう</sup>から <sup>し</sup>植物<sup>しょくぶつ</sup>が  
へると、さんそ<sup>が</sup> <sup>す</sup>くなくなってしまうよ。